

令和8年第2回教育委員会定例会 議事録

1 教育長あいさつ

はじめに、1月末に元教育長小笠原隆氏が、逝去されました。

小笠原氏は市役所退職後、平成27年の4月1日から令和3年6月末までの6年と3月江津市の教育長としてお勤めされました。その後江津市教育文化財団理事長に就任されておりました。

大変温厚で、穏やかな仕事熱心な方でした。野球や登山を趣味とされ、これからゆつくり楽しもうとされていたことと思います。大変残念でありませんが、皆様とともに、心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

年が明けてあつという間に1月が終わりましたけれども、昨日、今日とやや寒さも緩んだところですが。

週末また寒波が来るということで雪の予報が出ておりますが、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが予定されていますし、8日曜日には衆議院選挙の投開票も行われる大変慌ただしい時期となっております。

皆様も体調管理にはご留意いただきたいと思っております。

昨日、校長会がありまして、最初の挨拶で私の方から次のことをお伝えしました。

年度末になって報告等事務作業が増える時期ですが、その頃に合わせて、子どもたちにも疲れが出てきているなど感じます。児童生徒、そして保護者に対しては、これまで以上に丁寧な対応をお願いしたところであります。特に進級、進学を前にして、友達関係や学習などについて不安でつらい思いをしている子どもがいるはずで、ぜひ、そういった子どもに気を配り、配慮ある対応をお願いしたところでございます。

その他人事異動に関してや働き方改革の一層の推進についてお願いしたところであります。

最後に健康管理について、寒かたりまた緩んできたりすると体調管理が一層重要になろうかと思っております。

校長先生をはじめ教職員の皆さんの健康について、ご配慮くださいと伝えたところであります。

本日は15時から総合教育会議も予定されています。

長丁場になりますけれども、どうぞよろしく申し上げます。

2 教育長の報告（別紙 教育長勤務報告のとおり）

3 議事録署名委員

○教育長

本日の署名委員は、岡田委員と押越委員にお願いします。

4 議決事項

① 指定校変更(校区外就学許可)について(在校生分)

○大石学校教育課長より説明

変更理由)許可基準5-(6)「友人関係への配慮等」1件

<委員からの意見・質疑なし>

<全員一致で承認>

② 教職員人事について

○大石学校教育課長より説明

令和8年度に向けた教職員の人事異動について

<委員からの意見・質疑なし>

<全員一致で承認>

5 協議事項

① 江津市教育大綱の改定について

○植田社会教育課長補佐より説明

令和8年度から令和12年度までの江津市教育大綱の内容、パブリックコメントの対応状況及び今後のスケジュールについて説明

<委員からの意見・質疑等>

○天倉委員

現在、教職員の働き方改革を進めているが、教職員の負担を軽減するため、卒業文集を見直ししてキャリア・パスポートを活用するという事例をテレビで見た。

○植田社会教育課長補佐

キャリア・パスポートの取り扱いは、各学校で若干の違いがあるので、今後検討する必要がある課題であると認識している。

その他、ふるさと・キャリア教育やアントレプレナーシップ教育なども活用できないか検討もしたい。

○教育長

キャリア・パスポートと卒業文集の大きな違いは、キャリア・パスポートは小学校1年生から作成をはじめ高校3年生まで持ち上がる。また、卒業文集は他者の文集を読むことができるが、キャリア・パスポートは基本的に供覧することはない。

キャリア・パスポートは、大きな学校行事があった際や、学期ごと、本人が成長したなどと思う場面で本人が記入し、それに対して担任が赤ペンで感想等を記入するもの。

特に調べてはいないが、卒業文集を作らなくなった学校もあると聞いている。

○天倉委員

足し算の発想で事務が増えると働き方改革に逆行するので、重ねられるものは重ねる必要があると思う。

○教育長

キャリア・パスポートと卒業文集の在り方について、特に小学校の校長に確認してみたいと思う。

○大石学校教育課長

小規模の学校では卒業アルバムの作成において、1人当たりの負担が大きくなり困っていると聞いている。

修学旅行もバスの代金がすごく高くなると悩んでおり、公共交通機関を使っただけの移動という措置をとった学校もある。

○天倉委員

公共交通を使うことは良いことだと思う。負担のところは、浜田市の学校にいたときに浜田市の小学校全部を5グループに分けて修学旅行を行ったことがある。負担は確かに抑えられたが、大規模校の思いで進んでしまうので、小規模校の思いが反映出来にくかった。このためやめようということになった。

○押越委員

キャリア・パスポートについて、先日の幼小接続会議で、3歳から4歳ぐらいから作るのはいかがでしょうかということが出ていた。文章が書けないので、写真とかポートフォリオなどでということであった。保育所のころから作成することで幼小の接続がうまくいくのではと思った。

○植田社会教育課長補佐

今後の参考にさせてもらう。

○教育長

それでは、本案により総合教育会議にかけることとしてよろしいか。

<全員一致で承認>

6 報告事項

① 第2期「教職員の働き方改革プラン」について

○大石学校教育課長より説明

教職員の働き方改革プランに業務量管理・健康確保措置実施計画の内容を盛り込んで改定することを説明。

○天倉委員

教職員が高ストレスを抱える原因は何か。

○教育長

ストレスは、その人その人で業務内容も違い、感じ方も違うので一概には言えないが、ひとつには仕事が多忙ということがストレスにつながっていると言えると思う。

○岡田委員

高ストレス者のフォローはどうするのか。

○大石学校教育課長

本人が希望されれば産業医などにかかってもらえることができる。

○教育長

毎学期に校長が教職員の面談を行っており、その中で気になる者がいたら、医療機関等につなげることも行っている。

○岡田委員

「働きやすい職場である」と感じている教職員は現状何%いるのか。

○大石学校教育課長

現在はワークライフバランスが取れているかの質問をしており、働きやすい職場であるかの質問は今後行うことになるので、現在の数字はない。

○佐々木委員

留守番電話にしたことにより、保護者等から苦情などはないか。

○教育長

各校長に聞いたが、特に苦情などが入っていることはない。

○大石学校教育課長

どうしても連絡が取りたい場合は、市役所の宿直に電話してもらって、こちらから連絡をするということにしているが、留守番電話の導入後そういった案件は2件しかない。

○教育長

教職員の働き方改革を進めるためには、保護者や地域の理解を得る取り組みを続けていかなければと思っている。

○佐々木委員

教職員個人の電話にかかってくることはないのか。

○教育長

特別支援学級の担任などは、保護者が直接連絡を取りたいという場合があるので、教えているケースはあると思う。

○天倉委員

保護者が子育てに悩んでいる場合など、それに耳を傾けるような場があるといいのだが。

○教育長

直接教育委員会に連絡をいただいて、それを学校に伝えるということもしている。また、学校と保護者との関係がうまくいっていないような場合も、教育委員会が相談に乗りながら対応を検討している。

○天倉委員

スクールソーシャルワーカーが相談にのるといっているのはあるのか。

○教育長

スクールソーシャルワーカーが間に入って保護者の思いをうまく学校に伝えるというケースはたくさんあり、大変助かっている。

○天倉委員

教職員の多忙の原因のひとつに生徒指導と部活動を両方持っているということがあると思う。この者は、しんどいだろうなと思っている。こういった者の授業の持ち時数はどうなっているのか。

○教育長

中学校の生徒指導主事や教務主任は、授業時間数を減らすように配慮している。

小学校は担任を持っているので教務主任や生徒主任は若干しんどい部分はあると思う。

○天倉委員

ひとりの人に業務が集中しないよう配慮が必要だし、一方で学力向上をと言われると、あれもこれも無理だと感じる。

○教育長

色々配慮していきたい。なお、教職員の柔軟な働き方で、時差出勤の制度があるが、これも概ね好評であり、助かるということも言われている。

② 心の相談箱及び見守りフィルタの対応状況について

○大石学校教育課長より説明

心の相談箱は該当なし、見守りフィルタ6件の対応について報告。

③ 江津市人権施策推進基本方針の改定について

○西村人権同和教育係長より説明

2月1日から3月3日までパブリックコメントを実施する。

パブリックコメントで出た意見を参考に3月中に方針を決定する。

7 その他

① 令和7年度卒業式・令和8年度入学式の出席者について

○大石学校教育課長より説明

卒業式及び入学式に出席する者を決定。

次回定例会 予定

2月26日(木)14:00 決定

午後2時46分終了